

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2009年度第7回常任委員会 議事録

1 日時：2009年10月28日（水）午後4時から午後7時30分まで

2 場所：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 2 階 266 区 JPF 事務局

3 出席者の確認

常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：長有紀枝（常任委員会規約第10条5項に則り、第二部から出席）

NGOユニット：橋本笙子（常任委員会規約第10条5項に則り、第二部から出席）

外務省：川口三男（梨田委員の代理）

日本経団連：斎藤仁

財団：加藤広樹

学識経験者：石井正子

オブザーバー

外務省：澤村

AAR：大西、坪井、広谷

ADRA：了戒

BHN：山崎

CARE：貝原塚

HFHJ：山本

HuMA：徳光

JADE：丹野

JEN：大野、山田

JRSC：村上

KnK：佐々木

NICCO：折居

PWJ：柴田

SCJ：宮下

WVJ：坂、加藤

4 座長の選出

本会座長として、外務省川口氏を選出した。

5 第一部：審議事項

(1) 第一号議案：イラク避難民人道支援（ヨルダン）にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

NICCO「ザルカ県諸地域における心理社会的ケア、カウンセリングとインフォーマル教育事業」（政府支援金）

承認。

KnK「マルカ（東アンマン）における青少年への人道・教育支援3」（政府支援金）

承認。

- (2) 第二号議案：フィリピン水害被災者支援にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

AAR「マニラ首都圏およびカラバルソン地方における台風16号被災者への物資供与」
(政府支援金)

承認。

なお、本案件は人に焦点を当てた難しい援助といえるので、裨益者の選定に慎重を期することはもとより、結果のフォローアップをしっかりと行うよう常任委員から指摘があった。

JAFS「リサール州タリム島における水害復興支援事業」(政府支援金)

再提出。

シェルター設置事業における設置場所の選定や設置対象地の利用の継続性について検討を要すると判断されるため。また、設置するシェルターのオーナーシップが不明瞭であり、対象世帯数を増やすためにシェルターの仕様等に再検討の余地があるため。

ADRA「ラグナ州ビニャン町における緊急物資配布事業」(政府支援金)

承認。

- (3) 第三号議案：スリランカ北部人道支援にかかる支援期間の延長の承認
承認。ただし、事業実施にあたっては次の条件を附す。

人道支援の中立性を確保すること。

期間を2年とする根拠について合同調査を通して明らかにすること。

これまで実施してきた事業の成果を踏まえて、より効率的で質の高い事業を実施すること。そのため、個別事業申請に必ず実施した事業の総括と評価を添えること。

また、次のコメントが添えられた。

- ・日本の支援に対する現地社会の評価はどうか、現地の日本企業等をはじめとして、聴取に努めること。

6 第二部：審議事項

- (1) 第一号議案：2009年度第6回常任委員会議事録の承認

事務局より2009年度第4回常任委員会議事録(案)が上程された。審議の結果、同案をもって当該議事録とすることを全会一致で可決した。

- (2) 第二号議案：アドバイザーの委嘱

審議の結果、日本商工会議所鈴木秀昭氏にアドバイザーを委嘱することを全会一致で可決した。

- (3) 第三号議案：東南アジア学会が主催する研究会へのJPFの共催の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

「東南アジア学会緊急研究集会 支援の現場と研究をつなぐ 2009年西スマトラ地震におけるジェンダー、コミュニティ、情報-」

承認。

7 第二部：報告事項

(1) 事務局運営費の報告について

事務局より事務局運営費についての報告がなされた。

(2) JCCPから提出された改善策について

事務局から以下の報告があった：-

JCCPは前回9月30日の常任委員会で決議された「改善要求」にしたがって経理処理に関わる改善を進めている。改善策が実施体制に入った時点で事務局が再度実査を行い、JCCPがまとめる改善策に事務局の実査結果を合わせて次回の常任委員会に提出する予定である。

8 第三部：審議事項

(1) 第一号議案：中国四川地震被災者支援の支援期間延長申請の承認

承認。2009年11月25日から6ヶ月の期間、同支援を延長する。

9 第三部：協議事項

(1) JPF設立10周年にむけた取り組みにかかる交通費補助について

関東圏外に本部を有する団体の参加交通費補助について、事業不特定資金より必要予算15万円を支出することを確認した。

10 第三部：報告事項

(1) フィリピン水害被災者支援にかかる進捗報告について

AAR広谷氏より初動調査結果等の報告がなされた。

(2) スマトラ島西部パダン沖地震被災者支援にかかる進捗報告について

スマトラ島西部パダン沖地震被災者支援ワーキンググループを代表して、ADRA橋本氏よりJPF全体の展開状況および初動調査結果等の報告がなされた。

(3) 事務局のインドネシア出張報告について

事務局田口より、インドネシア出張の報告がなされた。

(4) 支援事業の概要報告について

パキスタン北西部人道支援

以下の事業について概要報告がなされた。

・JEN 「パキスタン北西辺境州国内避難民支援」(政府支援金)

パキスタン地震被災者支援

以下の事業について概要報告がなされた。

・JADE「パキスタン・ムザファラバード県内IDPキャンプから帰還した被災弱者に対する自立とエンパワーメント支援3」(政府支援金)

(5) 事務局のヨルダン出張報告について

事務局椎名よりJPF事務局による事業調整・連携推進事業3にかかる、ヨルダン出張の報告が

なされた。

(6) 書面による報告について

事務局より、書面をもって以下の事項の報告がなされた。

政府支援金および民間資金財務状況の報告

企業との連携の報告

事業計画変更の報告

メール審議結果の報告

固定資産処理の報告

コア・チームの報告

JPF事務局審議結果の報告

終了報告書審議結果の報告

(7) その他

- ・事務局より、JPF関連文章が10月16日の日本経済新聞に掲載されたとの報告がなされた。
- ・アフガニスタン人道支援の可能性について協議した。

(8) 次回ならびに次々回常任委員会の開催日時・会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することとした。

2009年度第8回常任委員会：11月26日（木）16時より

2009年度第9回常任委員会：12月22日（火）16時より

以上